

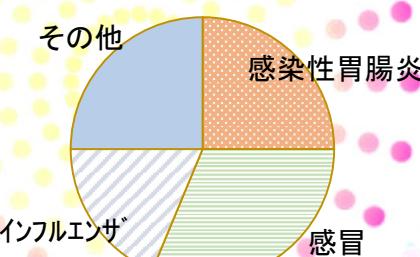
## 鹿児島県定点把握対象疾患の発生状況

2023年	(報告週)	第31週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2023年)
インフルエンザ/COVID-19定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	694	7.63	22,095
	COVID-19	1,889	20.76	14,345
小児科定点	咽頭結膜熱	20	0.38	896
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	0.51	840
	○ 感染性胃腸炎	171	3.23	10,550
	水痘	2	0.04	132
	手足口病	43	0.81	887
	伝染性紅斑	1	0.02	45
	○ 突発性発しん	19	0.36	513
	ヘルパンギーナ	169	3.19	4,736
	流行性耳下腺炎	1	0.02	106
	RSウイルス感染症	135	2.55	3,860
眼科定点	急性出血性結膜炎	—	—	2
	流行性角結膜炎	12	1.71	102
基幹定点	○ 細菌性瞼膜炎(真菌性を含む)	2	0.17	2
	無菌性瞼膜炎	—	—	4
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	—	—	—
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	—	0.00	—
報告数合計		3,185	0	59,115

○印は前週比



### 7月利用児病名割合



### RSウイルス感染症

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、何度も感染と発病を繰り返します。生後1歳までに半数以上が、2才までにはほぼ100%の子どもが少なくとも1度は感染すると言われています。

症状：発熱 鼻水 咳

潜伏期間：2~8日

感染経路：飛沫感染 接触感染

登園基準：呼吸器症状が消失し、全身状態がいいこと



厚労省 HP

予約受付時間7:30~20:00(月~土)

(日・祝日を除く)

病児病後児保育あいあいきっす

TEL 26-0404

不明点等、ご連絡下さい(^-^)

